

文部科学省による高等学校「情報Ⅰ」授業動画 企業制作動画の作成に関わる説明会

令和2年9月2日(水)、文部科学省による高等学校「情報Ⅰ」授業動画企業制作動画の作成に関わる説明会が、オンラインで開催され、25名が参加した。本年7月 JISA がプログラミング教育のための高校授業動画教材制作(情報処理学会制作)に協賛(※1)し、並行して、高校生の関心を誘引する企業制作動画の提供の機会を得て、JISA 会員企業の皆様から制作希望を募るため本イベントを開催した。

本イベントでは、中川哲氏(文部科学省初等中学校教育局 プログラミング教育戦略マネージャー)を招き、「新学習指導要領による高等学校・情報科で活用する企業制作動画について」と題して、ご講演、質疑応答をいただいた。

高等学校情報科は2022年度から、生徒全員が学習する共通必修科目「情報Ⅰ」、発展的な選択科目「情報Ⅱ」が設置され、ともにプログラミングが含まれるが、情報科の専任教員は20%のみで他教科専門の先生が掛け持ちをしている場合が多く、プログラミング経験のない先生も多い。

そこで、文部科学省では「情報Ⅰ」教員研修用教材や実践事例を用意した。しかし、第3章、第4章(※2)において研修が難しく、情報処理学会にボランティアでコンテンツ(※3)支援をしていただいているが、そこに JISA 会員企業の社会で活用されている企業動画の紹介をして、授業の導入の補助教材として位置づけたいと説明があった。

配布資料は下記で公開している。

<https://www.jisa.or.jp/Portals/0/data/seminar20200902.pdf>

9月11日より、高等学校「情報科Ⅰ」に係る企業動画制作募集(※4)を開始した。未来人材である高校生に、情報システムの社会的役割などを直接アピールできる極めて重要な「接点」となるものであり、説明会にご参加いただけなかった JISA 会員企業の皆様からも、動画制作希望を募る。事業の重要性を是非ともご理解の上、積極的にご応募いただければ幸いです。

平成29年3月に小学校及び中学校、平成30年3月に高等学校の新学習指導要領が公示され、小学校は令和2年度、中学校は令和3年度から全面実施、高等学校では、令和4年度から学年進行で実施される。総則では、小・中・高等学校共通に、情報処理能力を、言語能力と同様に「学習の基盤となる資質・能力」と位置づけ、学校のICT環境整備とICTを活用した学習活動の充実を明記している。中でも、高等学校では、情報科において共通必修科目「情報Ⅰ」を新設。全ての生徒がプログラミングのほか、ネットワーク(情報セキュリティを含む)やデータベースの基礎等について学習する。

(※1) プログラミング教育のための高校授業動画教材制作に協賛しました

<https://www.jisa.or.jp/tabid/78/Default.aspx?itemid=2529>

(※2) 高等学校「情報Ⅰ」

第3章：コンピュータとプログラミング

(ア)コンピュータのしくみ

(イ)アルゴリズムとプログラム

(ウ)モデル化とシミュレーション

第4章：情報通信ネットワークとデータの活用

(ア)情報通信ネットワークの仕組みと役割

(イ)情報システムとデータの管理

(ウ)データの収集・整理・分析

(※3) 「IPSJ MOOC 情報処理学会 公開教材」 一般社団法人情報処理学会

<https://sites.google.com/view/ipsjmooc/home>

(※4) 高等学校「情報科Ⅰ」に係る企業動画制作募集のご案内

～未来人材に情報システムの社会的役割や仕事のやりがい伝える活動～

<https://www.jisa.or.jp/tabid/890/Default.aspx?itemid=2574>

(溝尾)